

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	サイバネティクス・リアリティ工学 (清川 清 (教授))					
学籍番号	2411289	提出日	令和 8年 1月 19日			
学生氏名	八島 永知					
論文題目	ソーシャル VR における観察者役割の明示がコミュニケーション体験に与える影響					
要旨						
ソーシャルVRは高い社会的臨場感を提供する一方、見られている意識や評価懸念が喚起され、新規参加者が会話参加前に観察して状況把握する周辺参加が心理的に難しくなり得る。観察支援は観察者の安心感だけでなく、被観察者の監視感・不快感、公平性、運用上の説明可能性を同時に満たす必要がある。そこで事前調査で支援機能への懸念と受容条件を整理し、観察者の役割をアバタ外見で明示する観察モードを提案・実装した。役割表示を追加UIに頼らず一見して理解可能にすることを狙い、観察者を非人間型アバタへ切り替え、観察中は発話を無効化して「聞き専」状態を周囲に伝えることで、観察者の役割と観察中であることを周囲に明示しつつ、誤解や摩擦の低減を図る。評価実験では観察者の評価懸念・状態不安・認知的負担・社会的プレゼンスと自由記述、および被観察者の監視感・不快感・会話のしやすさ・受容性を測定した。						